55～57年度の事業計画
総額で七十億八千万円
教育関係で二十七億円

昭和五十五年度から五十七年度までの市総合計画実施計画ができあがり、この内容を市議会十二月定例会に報告しました。市では、毎年新年度予算の編成前に、三か年間の財政計画をたて、これに基づいて三か年間の事業の実施計画をたてます。この実施計画が市の建設事業計画の基本となるものです。

五十五年度から三か年の一般会計の投資的経費（建設事業費）は、七十億八千万円余りとなりました。

国の財政は、財政再建予算となり、きわめて厳しいものとなる見込みです。市財政も、市税、地方交付税等一般財源の自然増加については、多くを期待できません。この反面、経常的経費の増加、生活関連資本の充実等についての財政需要の増加は必至です。

市の各課等から提出された三か年の事業要望額は、総額百十三億円余りとなりましたが、財政計画の上から四十二億円ほどを見送ることになりました。

なお、市民体育館、図書館福祉会館、市庁舎等の大規模建設事業については、市役所庁舎等建設計画審議会の審議を待って実施計画に組み入れることとしました。

投資的経費の財源別の割合は、国県補助金一五・一％、市債四二・三％、その他八・三％、一般財源三四・三％です。

三か年における、事業の種類別事業費は、次のとおりです。

道路関係	二五億四千万円
消防・救急関係	二億三千万円
教育・文化・体育関係	二七億二千万円
福祉関係	一億九千万円
環境衛生関係	九億二千万円
公園関係	八千万円
産業関係	二億二千万円
一般行政その他	一億八千万円

55年度

五十五年度の財政規模を六十六億五千万円と見込み、この三六・四％に当たる二十四億二千万円を建設事業に当てる計画です。

▽建設関係

道路関係の事業費総額は、八億円です。

市道の事業費は、二億八千万円ほどで、これまで継続して整備してきた一級市道の上大月平林線などの整備を優先的に実施します。地元舗装事業による市の負担金は、五千万円ほどです。

都市計画街路事業費は、三億七千万円ほどです。

木崎・尾山線、葛塚南については、国の補助金を見込んで継続するほか、豊栄・水原線、葛塚環状線等の整備を継続して行います。また、木崎・見国山線の用地取得や駅裏停車場線の舗装等にも着手します。

農道関係は、広域営農団地道、同付帯農道、団体営農道の整備事業についての負担金が二千万円ほどで、里飯野地区の団体営整備事業を新たに計画しました。これまで実施した分についての負担は三千万円余りです。

▽都市計画関係

川岸土地区画整理事業は、この年度で完了する見込みです。本町通区画整理事業は、地元に対する説明などを実施します。

▽消防・救急関係

消防・救急関係の事業費は七千万円ほどです。

消防自動車一台、小型動力ポンプ三台、ポンプ積載車三台を購入するほか、防火水そう三か所、井戸三十か所を設置する計画です。このほか、消防署車庫の補修や消防署木崎出張所の整備事業を実施します。

▽教育・文化・体育関係

小中学校の事業費は六億円余りで、新しい葛塚小学校の調査設計と用地造成に着手します。事業費は、五千万円余りです。木崎小学校校舎建築の継続事業費は、九千万円余りです。このほか笹山小学校の校舎建築と給食室の整備に一億九千万円余りを見込んでいます。また、早通南小の屋体を建設します。

社会教育関係では、早通小学校跡に早通公民館を建設します。事業費は、六千万円ほどです。このほか、通称市道芋黒線近くの早通地内に野球場を建設します。事業費は二億一千万円ほどですが、このうち一億三千万円ほどは、東港関係の電源立地促進対策交付金を見込んでいます。旧長場小学校体育館の整備は、継続して実施します。

児童の増加や老朽化で、改築が急がれる葛塚小(右)と笹山小

56、57年度

五十六年度と五十七年度の建設事業費を、それぞれ二十三億三千万円余りと見込んで、事業計画を立案しました。

▽道路関係

道路については、大部分が継続事業で、五十六年度八億一千万円余り、五十七年度九億三千万円余りの事業費を見込みました。

市道――五十六年度、五十七年度とも、三億円余りの事業費を見込みました。

これまで予算を計上しても都合で実施できなかった仏伝橋の整備を、五十六年度に見込んでいます。

都市計画街路――五十六年度五十七年度で、八億五千万円余りの事業費を見込みましたが、大部分が継続事業です。

農道――五十六年度と五十七年度で、二億一千万円の事業費を見込んでいますが、広域営農団地農道と広域付帯農道の整備事業が、大部分です。

農道整備事業負担は、五十六年度、五十七年度とも四千万円を見込んでいます。

道路整備施設――グレーダーや路面側溝清掃車の購入を計画しています。

▽消防・救急

五十六年度と五十七年度で一億六千万円ほどの事業費を見込んでいます。

これまでと同様、消防自動車、ポンプ積載車、水利施設等の整備を続けますが、五十七年度には、消防署関方出張所整備費を見込みました。

▽教育・文化

五十六年度九億円、五十七年度九億一千万円の事業費を見込んでいます。

葛塚小の校舎建設に着手します。木崎小校舎解体、豊栄南小と早通南小のグランド整備、早通北小（仮称）の用地取得事業なども見込みました。

葛塚中の屋体補修、グランド整備、プレハブ教室整備事業などを見込みました。また早通中（仮称）の用地取得と造成費、同校調査設計費を五十六年度に見込み、校舎建設費を五十七年度に見込みました。

博物館は、継続して整備するほか、野球場の夜間照明施設費などを見込みました。

▽福祉関係

五十六年度、五十七年度とも三千万円ほどの事業費で、私立乳児園建設に対する助成費が主なものです。

▽環境衛生関係

五十六年度は三億一千万円五十七年度は二億円ほどの事業費を見込みました。

▽福祉関係

社会福祉関係の総事業費は一億二千万円ほどです。

早通児童館の建設に四千万円余り、二葉保育園の整備に七千万円余りを見込んでいます。

早通地区老人憩いの家は、社会福祉協議会で建設しますが、この経費の一部を負担します。下越ミニコロニーといじみの寮の費用についても負担します。

▽環境衛生関係

環境衛生関係の総事業費は四億一千万円余りです。

建設中の広域水道に対する出資金は、三千万円ほどです。

一部事務組合で処理しているごみ・し尿の処理施設建設負担金は、四千万円余りです。このほか、不燃物等の埋立地整備やごみ処理施設周辺地域整備に二千万円ほどを見込んでいます。

地域汚水処理施設は、豊栄駅裏団地の汚水管整備に一億六千万円を見込んでいます。

都市下水路については、事業費一億七千万円を見込みました。

五十六年度と五十七年度で一億六千万円ほどの事業費を見込んでいます。

これまでと同様、消防自動車、ポンプ積載車、水利施設等の整備を続けますが、五十七年度には、消防署関方出張所整備費を見込みました。

▽教育・文化

五十六年度九億円、五十七年度九億一千万円の事業費を見込んでいます。

葛塚小の校舎建設に着手します。木崎小校舎解体、豊栄南小と早通南小のグランド整備、早通北小（仮称）の用地取得事業なども見込みました。

葛塚中の屋体補修、グランド整備、プレハブ教室整備事業などを見込みました。また早通中（仮称）の用地取得と造成費、同校調査設計費を五十六年度に見込み、校舎建設費を五十七年度に見込みました。

博物館は、継続して整備するほか、野球場の夜間照明施設費などを見込みました。

▽福祉関係

五十六年度、五十七年度とも三千万円ほどの事業費で、私立乳児園建設に対する助成費が主なものです。

▽環境衛生関係

五十六年度は三億一千万円五十七年度は二億円ほどの事業費を見込みました。

▽消防・救急